

若手句会実況中継 令和元年5月10日 (金)

指導者：今井 聖氏・藤本美和子氏

出席者数 20名

高得点句

1位 濡れ手より釣り銭貰ふ夕薄暑

山田 牧 8点

(受講者7点、今井選)

講評：「夕薄暑」ということで、初夏の夕方の豆腐屋の景が見えてきていい。(受講者) 確かに「濡れ手」で詩情が出たと思う。欠点のない作品だが、作者の個性が刻印されていないのではないか。(今井)「豆腐屋の懐かしい感じが「夕薄暑」の季語で上手く出たと思う。景も見えている。しかし欠点がないところが欠点だと思う。既に詠まれているのではないかと感じてしまう。(藤本)

2位 花いばら昭和の家を解体す

中村 ひろ子 7点

(受講生5点、今井・藤本選)

講評：花いばらが昭和の感じが合っている。(受講者) 昭和の家が懐かしい。情景がよく見えてくる。ただテーマが出来すぎているかもしれない。(藤本)「花いばら」と「解体」の取り合わせがいい。昭和の家で年代ものになったから解体するという理屈が見えてしまったのは残念。「花いばら」と「解体」だけで作って欲しい。(今井)

3位 母の日の母の娘になりゆく

倉持 梨恵 6点

(受講者5点、藤本選)

講評：内容が分かりやすく、気持ちが入っている。(受講者) よく分かるが少し当たり前の感じもする。もうすぐ母の日でタイミングの良い時期にこういう句が作れるのも力だと思う。(藤本) 情緒安定の中にある方の句だ。「母の日の母の」や「父の日の父の」という句は沢山あるのでやめた方がいい。もしそうするならば、下の方で予定調和を破るようにして欲しい。(今井)

3位 宇宙説くハンカチーフをひろげ見せ 木内 縉 6点

(受講者5点、今井選)

講評…ハンカチから宇宙に広げる視点が良い。ただ宇宙とハンカチの取り合わせは健康的過ぎるかも。(今井)。一読分からず採らなかつたが、話を聞いて理解できた。宇宙とハンカチーフの取合せは面白い。ただ「見せ」がダメ押しのように良くない。「広げけり」と直した方がいい。その方がハンカチの白さと宇宙の広さが見えてくるのではないか。(藤本)

5位 初夏の乗車券に青き印 よこたまさみち 5点

5位 かげろふを隔ててエキストラ待機 伊藤 麻美 5点

5位 一息に抜く烏賊の骨氷色 千葉 まどか 5点

今井聖 特選句

袋掛けせしものなべて形なす 金井 憲一郎

撮影の機材ぎらつく穀雨かな 伊藤 麻美

夕焼や斜線の下に誤字呻き 福田 健太

藤本美和子 特選句

袋掛けせしものなべて形なす 金井 憲一郎

ひきがへる妻に無言を通しけり 吉田 哲二

薫風に触るるため手空けておく 山田 牧